

# 「惑星探査ゾーン」

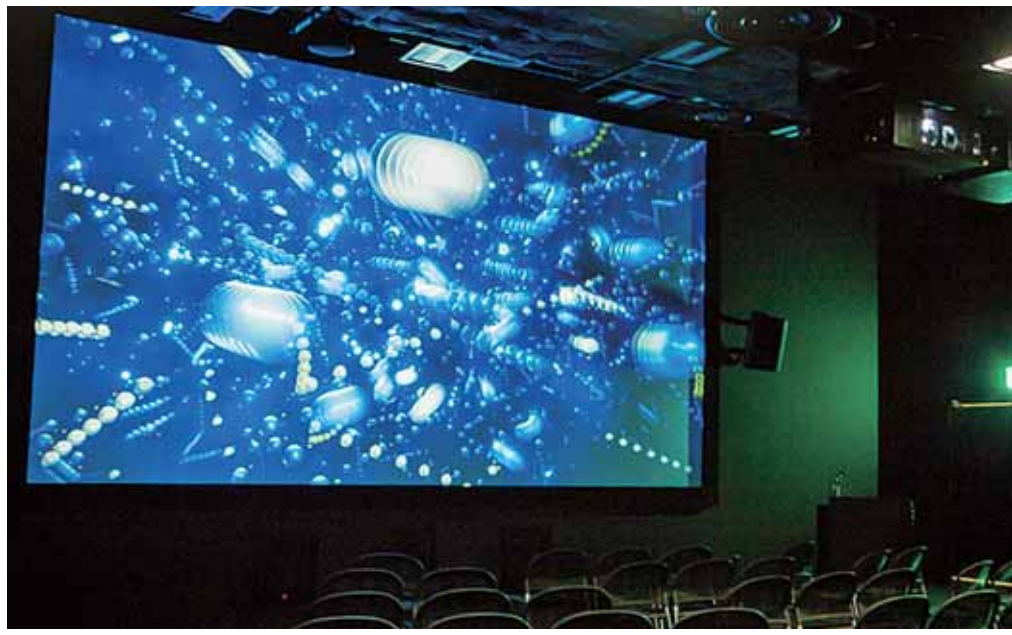
## Area II 東京スカイツリータウンキャンパスにオープン

**NEWS CIT**

2014  
3.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼  
2丁目17番1号  
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344  
<http://www.it-chiba.ac.jp/>  
毎月1回(8月を除く)15日発行



④開場初日、太陽系ランドツアーの画面や「天鉄刀」に見入る来場者たち  
⑤宇宙138億年の旅「地球そして生命」を上映する300インチ大画面の3D宇宙シアター

### PERC「宇宙とヒト」を発信

近未来技術を発信する東京スカイツリータウンキャンパス(東京都墨田区押上・ソラマチ8階)に2月22日、「Area II惑星探査ゾーン」が誕生した。2012年5月のタウンキャンパス開設から1年9カ月。既設エリア(Area I)が未来ロボット技術研究センター(fuRo)の先端ロボット技術を中心に紹介しているのに対し、新たなArea IIは主に、宇宙の成り立ちと生命の謎を惑星探査研究センター(PERC)が発信する。

### ニュースガイド

- 2面 「Area II 惑星探査ゾーン」  
詳報/入学試験終わる
- 3面 成毛さん学生優秀発表賞/藤巻さんビジネスアイデア賞/原さん優秀賞/産官学フォーラム
- 4面 千種寮50周年式典/デザイン科学科卒業・学外展
- 5面 神田外語大と本学、コラボ企画盛ん/教員試験対策講座/サーテック2014/校友「松本章治氏」
- 6面 ものづくりR&D PMシンポジウム/越山研が展示/出版案内
- 7面 定年退職者/祝勝・奨励会
- 8面 定年退職者(続き)



先着親子がテープカット

初日は瀬戸熊修理理事長と先着親子がテープカットし、新聞発表などで知った人たちが千人以上が入場した。

Area IIは隣接フロアを借り上げ拡張したもので、本学タウンキャンパスは既設312平方メートルと合わせ計1157平方メートルとなった。新エリアの

### 先着親子がテープカット

オープンの2月22日は寒い曇り空のもと、駆けつけた来場者が入り口で開場を待った。午前10時半、一番乗りした神橋基博さん(41)と友博君(7)親子が東京都葛飾区青戸IIが、瀬戸熊修理理事長と並んでテープカットした。

神橋さん親子は新聞発表を見て来場したという友博君は大きなはさみで誇らしげにテープカット

「バルキリー」は初日に限り、一般入館者にバルキリー格納庫内への立ち入りを認めた。マニアたちは、機体のステンシル(型板)文字、コクピット内など細部に、何度もカメラを向けていた。親子連れが多く、バルキリーや1200インチ惑星ガイド「太陽系ランドツアー」を背景に記念写真を撮っていた。

午後には1時間120〜250人の割合で入場し初日1092人が来場。Area Iオープン以来の累計来場者数は27万5517人となった。

初日は瀬戸熊修理理事長と先着親子がテープカットし、新聞発表などで知った人たちが千人以上が入場した。

Area IIは隣接フロアを借り上げ拡張したもので、本学タウンキャンパスは既設312平方メートルと合わせ計1157平方メートルとなった。新エリアの

主題は「惑星探査」で、ダイナミックな体感型デジタルシミュレーションを展開している。

(2面にArea II詳報) 入り口には2本柱「アストロゲート」が立ち、宇宙への旅人を迎える。踏み込むと、床と壁に映像を投影した「ステックアップ」の世界。宇宙の投影に近づくと、太陽や惑星、彗星、隕石が出現。床の小惑星を踏むと、動き出し衝突や、新生の姿を見せたりする。

続く「太陽系ランドツアー」は、大型タッチパネルに触れることで、太陽系の最新情報や、各国の惑星探査の歴史にアクセスできる。

「ムーンウォーカー」は日本の月探査機「かぐ

や」が撮影した高解像度映像を基に、月面のさまざまな地形を歩く仮想体験ができる。

今回出展の「巨玉」が「3D宇宙シアター」。3000インチ大画面に約138億年前のビッグバン以来の、太陽と地球の誕生、恐竜の世界、人類の出現と爆発的増加――などが3D映像で描き出される。映画「ゴジラ・シリーズ」の特撮監督が協力した迫力ある映像物語だ。

初日から人気をさらったのが、実物大マクロスF「バルキリーVF-25F」の常設展示。アニメ「マクロス」シリーズから飛び出した全長9メートルの変形ロボットに、子どももマニアは興奮気味だった。



3月末で閉寮される「千種寮」の創立50周年記念式典が2月8日、津田沼校舎で開かれた。大雪の中、OBらは用意されたバスで千種寮を訪れ、写真で寮生活を回顧した。(4面に詳報)



### 千種寮創立50周年式典

### 旧寮生らが、お別れ

### グアム大とも交流協定

### 英語研修、短期留学先に

小宮一仁学長は2月24日、米領グアム島のグアム大学を訪問し、本学との交流協定を締結した。

グアム大は1952年創立。太平洋ミクロネシア地域で唯一の総合大学で現在、約3千人の学生が学んでいる。

今年から同大学で本学の夏期英語研修を行うことが決定、今年夏には金融・経営リスク科学国際コースの短期留学も予定されている。

本学の海外交流協定大学は8カ国・地域15大学となった。

大きな宇宙にその構成物として、Area II全体を壁面グラフィックが囲み、広深い流れる。

大な宇宙にその構成物として、星間雲からヒトまで、深い流れる。



# Area II 惑星探査ゾーン

# 本物データで見せる

宇宙の謎や不思議な現象にじかに接して、宇宙をもっと身近に感じ、楽しみながら理解を深めてもらう。東京スカイツリータワーウイングに2月22日オープンした「Area II 惑星探査ゾーン」は、惑星探査研究センター（PERC）の松井孝典所長が総監修した宇宙情報体験エリア。「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神のもと、本学の研究成果を社会に還元する試みの一つでもある。

### ■マスコミも高い関心

既設の「Area I ロボット技術ゾーン」は、未来ロボット技術研究センター（furo）の体



入り口「アストロゲート」

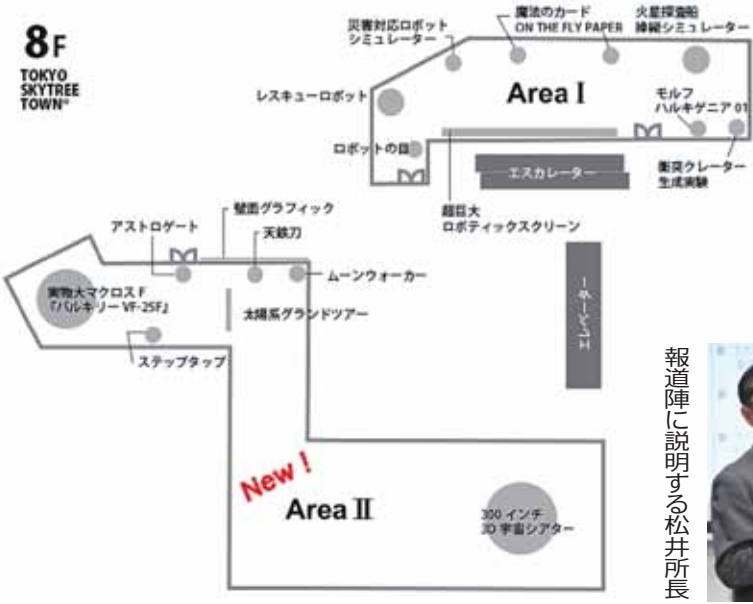
験型アトラクションゾーンとして幅広い人気を集めている。

「惑星探査ゾーン」の一般公開に先立って2月21日に行われた報道陣公開には、テレビ・新聞・雑誌など約50社、1000人を超える記者やカメラマンが詰めかけた。

あいさつに立った松井所長は「千葉工業大学は科学・技術の教育・研究のための大学であり、その成果を社会に還元することはとても重要です。ここでは来場者になるべく「本物」を見ていただきたいと思って監修をしました。映像などの惑星データはすべて本物です」と語った。



報道陣に説明する松井所長



床面・壁面の映像で遊ぶ「ステップタップ」

今年、国際宇宙ステーションに打ち上げられるカメラから、直接PERCに送られてくる画像なども、ほぼ同時にこのゾーンで見せられるようにする計画だという。

### ■さあ、宇宙へ出発！

入り口は「アストロゲート」。5個のキューブを積み上げた映像が投影された2本の柱の間を来場者が通ると、惑星の映像とともに「WELCOMEME」とメッセージが表示され、いかにも「宇宙の旅が始まる」感じ。

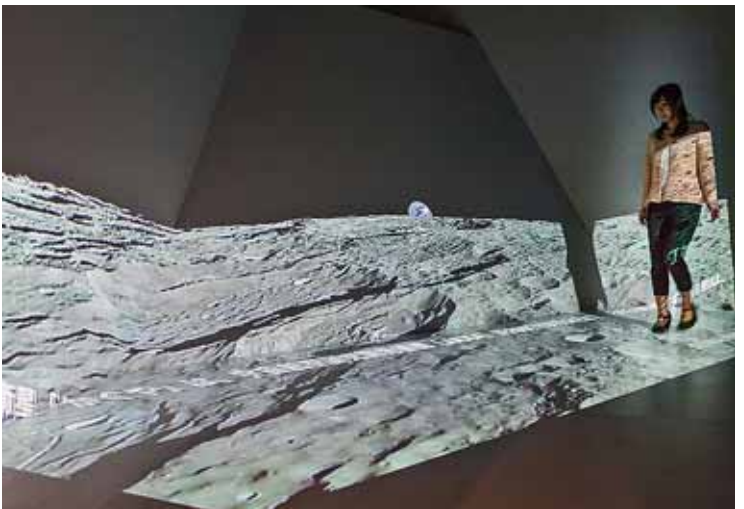
その先にあるのが「ステップタップ」。床と壁に投影された宇宙の映像に近づくと、太陽や惑星、彗星や隕石などが現れる。床面の彗星や小惑星を踏むと、「あれっ！」。壁面に向かって動き出し、惑星にぶつかっ



実物大マクロスF「バルキリーVF-25MF」

### ぶりに眼前に迫る。

この「ムーンウォーカー」と太陽系グランドツアーで使われている映像は、NASA（米航空宇宙局）やJAXA（宇宙航空研究開発機構）などから提供された「本物」。世界の宇宙研究の最先端を走っているPERCのような研究機関などが使うことを許されるものだ。ちょっと変わった展示もある。4億5000万年前にアフリカに落下し



月面を本当に歩いているよう。「ムーンウォーカー」



太陽系グランドツアー



「天鉄刀」



3D宇宙シアター



壁面グラフィック

た「ギベオン隕石」と呼ばれる鉄隕石を使った日本刀「天鉄刀」だ。松井所長と「宇宙戦艦ヤマト」などで知られる漫画家の松本零士さんが「隕石で日本刀を作ろう」と意気投合し、現代の名工・吉

原義人さんが砂鉄に「ギベオン」の粉末を混ぜて鍛え上げたもの。ギベオン隕石も同時公開。圧巻！300インチ3D宇宙シアター

宇宙の始まり、138億年前のビッグバン以来、無数の星が生まれては消えている。太陽系で地球をはじめとする惑星が誕生したのは46億年前。地球では海が生成され、生物が生まれ、植物が出現したが、2億3000万年前に出現した恐竜は、6550万年前に巨大隕石の衝突で起きた気候変動で絶滅。奇跡的に生き残った哺乳類から20万年前に人類ホモサピエンスが出現した。

人類は1万年前、農耕牧畜を始めたことで人口が増え、やがて文明を生みだす。そして、2000年前の産業革命によって駆動力を得たことで、人口が爆発的に増加した。しかし、人間圏のこのような拡大は、果たして進化と言えるのか。「我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか。この人類にもっとも根源的な問いに答えるのが「アストロゲート」だ。

### ■壁面グラフィック

人間や地球のすべてのものは、輝く星の中で生まれ、まき散らされ、再集合した元素により構成される。Area IIの外側を取り囲むグラフィックは、私たち人類も宇宙の一部の構成要素であることを再認識させる。

# 千葉工大の成果、社会に還元

# 過去最多4万3679人

# 平成26年度 本学志願者

B日程入学試験が2月17、18日の2日間、また、今年度から行われた大学入試センター利用入学試験（中期）本学試験

なし）、3月5日午前にC日程入学試験、同日午後には大学入試センター利用入学試験（後期）が行われ、本学の平成26年度入

学試験が全て終了した。B日程入試の志願者は7344人（昨年度より1537人増）。大学入試センター利用入試（中

期）には1765人、C日程入試には3131人（昨年度より8125人増）、センター利用入試（後期）には1431人

（昨年度より426人増）が志願した。平成26年度の本学総志願者数は4万3679人（昨年度より8125人増）で、過去最多を記録するとともに、6年連続で志願者数が増加した。



# 成毛さん 学生優秀発表賞

## 在庫転送を数理的に研究



「ビッグデータの可能性」を統一テーマとした経営情報学会2013年秋季全国研究発表大会（昨年10月26、27日、神戸市西区の流通科学大で開催）で、成毛悠亮さん（マネジメント工学専攻修士2年・椎名孝之研究室）が「在庫転送問題に対する数理計画モデルの研究」をポスター発表し学生優秀発表賞を受賞。論文は椎名・経営情報科学科教授、徐春暉・金融・経営リスク科学科教授と連名の研究成果として経営情報学会誌3月号に掲載された。

成毛さんらの研究は、最適なサプライチェーン（供給連鎖）商品の製造から販売までを設計するための理論。商品が製造され消費者に届くまでに、供給者は

商品のサービスレベルを上げつつ、在庫や関連費用は低く抑えようと考える。それにはどんな在庫転送システムが最適か。拠点間の在庫融通について、従来の研究では予防的在庫転送策、緊急的在庫転送策の2つが別々に研究されてきたが、どちらか一長一短だったという。

成毛さんらは、2つの方策を併用することで、より高いサービスレベルを達成できるのではないかと考え、確率計画法で数理計画モデルをつく

り、併用策の有効性を検証した。リスク尺度にCVAR（条件付きバリュー・アット・リスク）を用い、CVARを最小化する問題に、近似解を求めるShaped methodと、厳密

解法である分枝限定法の2つの解法を試し、計算時間で効率性を比較。数値実験では、大規模な問題ではL-shaped法が、計算時間が有利なことが明らかになったという。

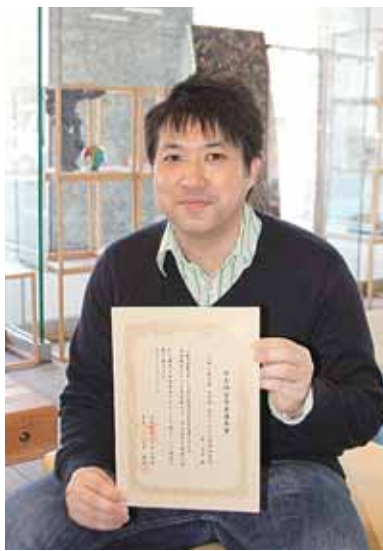
ポスター発表で、研究の独創性、新規性が高く評価された。成毛さんは受賞に「多くの方々に有益な助言をいただき、お礼を申し上げます」と語っている。

次に、駅力と、駅からの距離（キロ）を含んだ利便性関数を仮定して「鉄道交通利便性指数」を算出し、Googleマップ上に分かりやすく表示した。

効果や手法について研究成果を発表した。まず、長尾徹教授が「実用性が高いデザインという技術とは？」と題し講演。デザインの応用可能な知見や技術、活用方法を具体的に紹介。デザイン領域の広さや、デザインの導入がもたらす効果を語った。

## 原さんら数値化、優秀賞

### 駅力指数で測る土地の利便性



「駅力指数を用いた土地の鉄道交通利便性指数の求め方」を、原洋平さん（経営情報科学科研究生・大田勉研究室）と共同で発表し、日本経営システム学会の2013年秋季全国発表大会（昨年

12月7、8日、広島市の広島経済大で開催）で原さんが発表、学生研究発表優秀賞を受賞した。

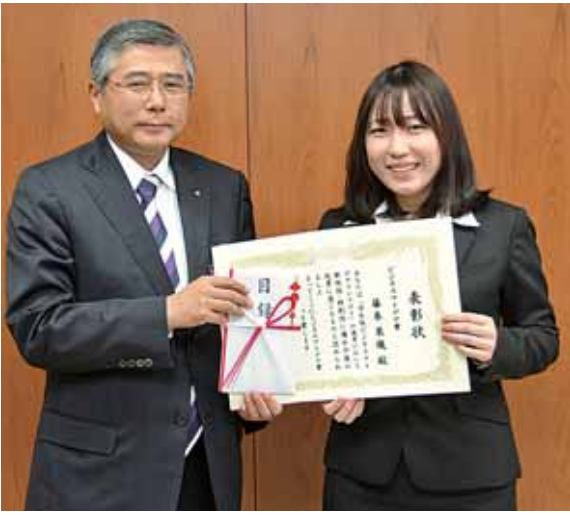
土地の価値は、鉄道交通の影響を大きく受けている。誰もが感じるこの利便性を「各駅の駅力」と、駅からの距離を含んだ利便性関数から算出し、見やすく数値化する方法を開発した。大会は「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」を統一論題に開かれた。

原さんは「賞を頂け、すごくうれしい。発表に当たり、助言を下された先生方や、基礎データ作成を手伝ってくれた後輩たちに感謝しています。これを次への活力として研究していきたい」と語った。

## ヨウ化チタン膜が県産業変える

### 藤巻さん ビジネスアイデア賞

ちば発の、未来を育てるアイデアを募集する「ちばぎん・学生版ビジネスアイデアコンテスト」



受賞を喜ぶ藤巻さんと佐久間英利・千葉銀行頭取

「ちばぎん・学生版ビジネスアイデアコンテスト」

「ちばぎん・学生版ビジネスアイデアコンテスト」は「DCマグネトロンスパッタリングによるヨウ化チタン膜の作製」。千葉県特産のヨウ素と金属チタンとの出会いが、医療技術と県産業の未来を

変えるというアイデア。ヨウ素は人体に必須な元素で、抗菌作用を持つ。近年、人体に順応するチタンの表面に無数の孔を開け、ヨウ素を浸透させた人工骨が開発された。しかし浸透技術は、チタン表面の二酸化チタンの存在で、骨形成に

いるが、藤巻さんは、スパッタリングによる成膜と、出来た被膜の特性解明が、新しい医療技術につながる」と予測した。

ヨウ素は、国内産の8割が千葉県産。太古の海水を閉じ込めた地下水層が水溶性天然ガス（南関東ガス田）と、ヨウ素を豊富に抱えているため、ヨウ素含有量は通常海水の約2千倍。これほどの天然濃縮は世界でも珍しいといわれる。

「ヨウ素は、国内産の8割が千葉県産。太古の海水を閉じ込めた地下水層が水溶性天然ガス（南関東ガス田）と、ヨウ素を豊富に抱えているため、ヨウ素含有量は通常海水の約2千倍。これほどの天然濃縮は世界でも珍しいといわれる。」

「ヨウ素は、国内産の8割が千葉県産。太古の海水を閉じ込めた地下水層が水溶性天然ガス（南関東ガス田）と、ヨウ素を豊富に抱えているため、ヨウ素含有量は通常海水の約2千倍。これほどの天然濃縮は世界でも珍しいといわれる。」

「ヨウ素は、国内産の8割が千葉県産。太古の海水を閉じ込めた地下水層が水溶性天然ガス（南関東ガス田）と、ヨウ素を豊富に抱えているため、ヨウ素含有量は通常海水の約2千倍。これほどの天然濃縮は世界でも珍しいといわれる。」

「ヨウ素は、国内産の8割が千葉県産。太古の海水を閉じ込めた地下水層が水溶性天然ガス（南関東ガス田）と、ヨウ素を豊富に抱えているため、ヨウ素含有量は通常海水の約2千倍。これほどの天然濃縮は世界でも珍しいといわれる。」

## 「デザイン」成果を講演 産官学フォーラムで4教員



津田沼5号館で開かれた「産官学連携フォーラム」

本学は、産業界・地域社会と交流を深め、現代のニーズに先駆的工学技術で応えようと、フォーラムで各学科の研究を公開している。今回はデザイン科学科の教授らが「デザイン」がもたらす

最後に八馬智准教授が「眠れる地域資源に着目した、新しい産業観光の創出」と題して講演した。こちらは「観光」がキーワード。眠れる地域資源に着目し新しい産業観光を創出する試みとして「工場鑑賞ツアー」を紹介。既存の工場などの景観を観光資源ととらえ、地域ブランドづくりや新市場の創出に成功した事例を発表した。



# 「千種寮」閉寮 50年の思い出

## 旧寮生たち、友と酒と歌を語る



参加者全員で高らかに寮歌を歌う



友人と過ごした相部屋



いたるところに思い出が……



久々に顔を合わせ記念撮影

新習志野校舎に「桑蓬寮」と「椿寮」が開設されるのに伴い3月末で閉寮となる「千種寮」の創立50周年を祝う寮生OBの集まりが2月8日、津田沼校舎で開かれた。出席者の中には「千種寮」の門をくぐるのは卒業以来、という人もいて、母校の発展ぶりに目を見張る姿も多かった。



裸の付き合いをした風呂場



最後の寮長・玉城達朗君と坂本会長

この冬初めて、しかも千種寮では統計開始以来の大雪にもかかわらず、会場の学生食堂にはOB180人や現役の寮生、大学関係者など合わせて約250人が集まった。OBの中には午後3時の開

会前に、大学が用意したバスで約15分離れた千葉市花見川区の千種寮を訪れ、青春の思い出に浸った人も多かった。

「千種寮」は東京オリピックが開かれた昭和39年の開設からの50年間で、1900人を超える卒業生を送り出してきた。会場には70歳前後に

なってきた1期生をはじめ2、3、4期のOBが集まって、記念写真を撮る光景も見られた。

昭和17年5月に現在の町田市の玉川学園内に創立された本学は、2年足らずで玉川の地を離れ、以来、校舎を転々と、他大学との合併話もありました。財政的には常に逼迫した状態でした。終戦後、2代目理事長の財閥解体による公職追放、理事会の内紛など下ラブルが次々と起き、「この大学はもう危ない」と

昭和17年5月に現在の町田市の玉川学園内に創立された本学は、2年足らずで玉川の地を離れ、以来、校舎を転々と、他大学との合併話もありました。財政的には常に逼迫した状態でした。終戦後、2代目理事長の財閥解体による公職追放、理事会の内紛など下ラブルが次々と起き、「この大学はもう危ない」と

### 瀬戸熊理事長の祝辞要旨

いわれたときに、本学園係者を含め、多方面から懇請されて理事長を引き受けてくださったのが、昭和34年、当時の自民党幹事長の川島正二郎先生です。

もうお一人、忘れてはならない方が一昨年亡くなった豊田耕作前理事長です。学部学科新設等に必須とされる新習志野校地の取得に全身全霊を傾



▲意欲的な作品が並んだ学内展▼



◀小宮学長に作品を説明する学生



学外展では精巧な模型も展示

け、新習志野校舎、茜浜運動施設完成の折には、当時の収入の約2年分である108億円の借金。一除夜の鐘も百八つ。千種寮に正月は来るのでしようかと申し上げたら、「何とかなるよ」と一言。幾多の苦難に直面したにもかかわらず今の千種寮があるのは、豊田前理事長の経営決断と千種寮一期生としての思いがあったからこそなのです。

デザイン科学科の「卒業研究・制作展」(実行委員会代表 同科4年・里瀬佑君)が2月7、8日の金・土曜日、津田沼校舎7号館で開催された。

卒業(学内展)には毎年、デザイン科学科で学んだ集大成の、ユニークで夢のある作品が並ぶ。今年度はPRにフェイスブックページも活用し、各研究室を事前紹介。その

の効果が家族、他大生、OBからも訪れ、来場者層が広がったという。展示方法も、大学祭で見たデザインストーリーのコンセプトになら、一階中央にモニメントを置くなど工夫して好評だった。

また、学外展として「デザイン科学科活動報告展」を2月16日(日)、秋葉原UDXギャラリーで開催。プロダクト、情

報、インテリアのデザイン3コースで構成された卒業制作・卒業研究の選抜作品のほか、産学協同プロジェクトや演習授業の成果を展示した。直前に記録的な大雪が降り影響が心配されたが、見事に訪れた小宮一仁学長は「美しさとアイデアにあふれる見事な作品ばかりで、時間を忘れて楽しめました。多彩で個性あふれる千種寮をアピールしてもらい、うれしい」と感想を述べた。

デザイン科学科の「卒業研究・制作展」(実行委員会代表 同科4年・里瀬佑君)が2月7、8日の金・土曜日、津田沼校舎7号館で開催された。

「忙しい時期に、みんなが協力してくれ感謝しています」と振り返った。2日目の8日は大雪の気配に、学生や来場者の安全を考慮し時間を繰り上げて終了した。

また、学外展として「デザイン科学科活動報告展」を2月16日(日)、秋葉原UDXギャラリーで開催。プロダクト、情

報、インテリアのデザイン3コースで構成された卒業制作・卒業研究の選抜作品のほか、産学協同プロジェクトや演習授業の成果を展示した。直前に記録的な大雪が降り影響が心配されたが、見事に訪れた小宮一仁学長は「美しさとアイデアにあふれる見事な作品ばかりで、時間を忘れて楽しめました。多彩で個性あふれる千種寮をアピールしてもらい、うれしい」と感想を述べた。

全体の指導と運営に携わった八馬智・同学科准教授は「自分たちの成果を見てもう一つは、彼らの成長にとっても重要。来場者には、テーマの多様さから、デザインの可能性を感じ取っていただけたのではないのでしょうか」と話していた。

OBの皆さんだと思つくと、祝辞を述べた。会場ではOBや来賓から千種寮での数々のエピソードが披露された。

平松三男・総務会長「今日、千種寮を訪れ、久しぶりにあの臭いにおいをかいできました。私たちの時代の寮生活は「友と酒と歌」に集約されます。あの経験は50年たっても自分の宝です。」

宮川博光常務理事「広報課に配属された昭和52年、千種寮祭取材に行つて見たものは、棟ごとの感じが異なります。最終日に千種寮座を神輿を担いで練り歩く1年生のふんどしの幅が鉢巻ほどしかなく、写真も撮っても学内報には使えませんでした。」

このあとOBと現役寮生に同窓会から、赤レンガの旧正門をレイアウトしたスポーツタオルが贈られ、第5代寮長・小林一吉さんの音頭で全員が万歳三唱して、会は幕を閉じた。

が、無事に開催。今年のテーマは「あなたに届ける」。「つながり」や「調和」の意味を込めて、展示空間やポスターをトータルにデザインした。昆虫に興味を持ってもらうためのデザイン提案▽イメージと機能のズレで盗難防止に役立てようとする製品提案▽漫画などの定型表現の発生と定着のメカニズムを調べた研究――すべて、デザイン科学科1〜3年生の手によるもの。

## 展示に工夫、多様な来場者

### デザイン科学科 卒展・学外展開く



千葉工大 × 神田外語大

コラボ企画 盛ん

外国語教育を通じ国際人の育成を目指す文系の神田外語大学（KUIS）と、千葉市美浜区若葉区に、理系の本学とのコラボ企画が盛んだ。

「異文化」ながら地元同士、習志野や幕張の魅力をPRしよう、とこれまで「Vビバー・トランセホールディングス株式会社（千葉市美浜区中瀬）が運行する高速バス（幕張新都心〜東京・銀座間）のラッピングデザインをアメリカンフットボールチーム「オービックシールズ」（本拠地：オービック習志野グラウンド）支援活動として、合同で展開した。

本学学生自治会も2013年度▽神田外語大の英語プレゼンテーション・コンテスト▽けいおんバトル▽大学祭―に互いに出張参加し、学生同士の交流を図った。

浜風祭（KUIS大学祭）では「CIT出張教室」を開催。ものづくり教室やメカニクス講座、CITクイズで盛り上がった。一方、津田沼祭では、神田外語大が「文系ステージ」を持ち込み、



木村孝一君（経営情報科学科2年）は「交流によって、文系、理系カテゴリーを再認識したい」と話した。

合格6人が対策伝授

教員試験対策講座開く

千葉工大のキャンパスから中学・高校の教室へ、創造の楽しさや仲間と学ぶことの面白さを伝えたい―教職課程で恒例の教員採用試験対策講座（今回から教職課程運営委員会主催）が1月25日、津田沼校舎6号館で開かれた。写真。今年度に見事突破した6人（卒業



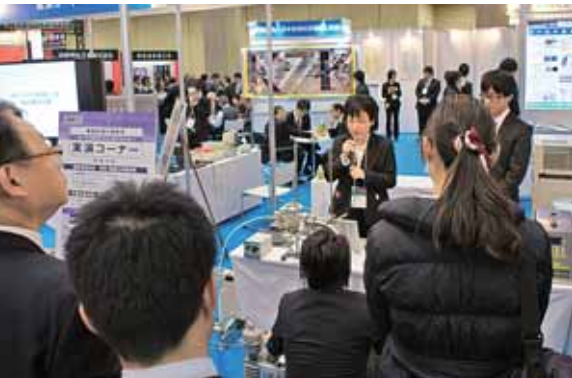
本学では学科により、数報・工業・商業の教員免許状を取得でき

る。今年度の公・私立採用試験合格者（判明分）は6人（数2、理3、工1）。さらに、常勤・非常勤講師の採用が見込まれている。

薄膜・表面改質を実演展示 サークックで坂本研など

京ビックサイトで開かれた。本学機械サイエンス学科には新奇材料・表面工学分野の第一線で活躍する研究者が結集しており、今年も千葉工大・表面工学研究グループの名でブースを出展した。

坂本幸弘教授の研究室は研究過程をポスター展示。大学院生を中心に、プラスマCVD（プラスマを使った薄膜蒸着法の一つ）によるダイヤモンドライクカーボン膜の作



院生の今宮麻衣さんによる実演実験

活躍する 校友

バイテック副社長 松本 章治氏 (61歳) (昭和52年、電気工学科卒)

「人生、送りバントです。デバイスビジネスで伸びる株式会社バイテック（本社・東京都品川区）の代表取締役副社長、松本章治さんは、意表を突くフリースで笑わせ、相手の心をつかむ。ピンチを幸運につなげる、明るい苦労人だ。

人生、送りバント 共存共栄点を探る



「人を思いやる気持ちを」と松本さん

て、夕方には配り終える夕刊は講義時間と重なるだけにきつい。半年してバイト先を移り、授業料以外の生活費を自分で稼いだ。クラブ活動はしなかった。

2年生の後期のこと。4室並んだアパートの外壁へ隣の幼稚園からいたずらっ子がしきりに小石を投げつける。「危ないじゃないですか」。その苦情に頭を下げた園の教諭こそ、いまの夫人というから、人生はまさにドラマだ。空欄における「空気の流れ予測」をテーマにした卒業研究をグループでまとめ、石油ショック

松本さんらは独立、スタートしたが半専体専門商社バイテックだ。

ソニーと特約店契約を結ぶなど、「外部販売で急拡大した」（松本さん）。杜の都・仙台に営業所を立ち上げ、責任者として単身赴任している。商談で東北中を歩き、「新しい顧客を見つめるのが楽しかった」。新商品の情報を得て、メーカーへ売り込む。車載オーディオなどに引き合いが多かったという。7年後に東京へ戻り、その後も営業畑一筋。97年に役員、2010年には代表取締役副社長となった。

3年前から環境エネルギービジネスへも領域を広げている。群馬県中之条町など6カ所にメガソーラー発電所を稼働させ、自治体と連携しながら、電気の地産地消を通じた地域活性化を推進中だ。月のうち3分の2は顧客回りに費やす。好きなゴルフも仕事先とのことが多いという。

「若い学生には、人間関係を大事にし、人を思いやる気持ちを学んでほしいですね。勉強も、専門的な知識も大切だが、時代とともに必要とされる技術は変わります。基礎学力さえあれば、応用力につながっていきますから」。

「人生、送りバントです。デバイスビジネスで伸びる株式会社バイテック（本社・東京都品川区）の代表取締役副社長、松本章治さんは、意表を突くフリースで笑わせ、相手の心をつかむ。ピンチを幸運につなげる、明るい苦労人だ。

札幌市から東へ車で約1時間、北海道長沼町で育ち、高校時代は硬式野球部で白球を追った。セカンド（2塁手）で2番バッター。「送りバントばかり。それと足が速かったのが盗塁です」。どこか教訓めいて胸にしみる。

中学生のころから電気屋でアンプを買ひ、ラジオを製作した。理系進学をこころざし、札幌市内の予備校に通った。友人との下宿暮らしのせいか気が緩み、2浪へ突入。さすがに親は怒ったという。新聞配達で自活しながら勉強を続けたものの、「いろいろな人に染まってしまった」。結局、遅くまであった地方入試に救われ、新聞配達奨学金も得て本学へ。

新聞の配達には案ではない。朝刊は未明なのでよいとし

クに続く就職難の1976年、自分で探したエレクトロニクス総合商社に職を得ると同時にゴールインした。

電子部品などデバイスビジネスはそのころ花形。電卓、ゲーム、ビデオ、ラジカセなどへと需要は広がり、日の丸半導体の生産が世界一になった1980年代、日米半導体摩擦が激しさを増す。その荒波の中、87年に総合商社から

その一方、独自のソフトウェア開発などを旨とし、80年代末に系列技術会社バイテックシステムエンジニアリング（本社・品川区）を設立、技術力のアップを図ってきた。同社には本学卒業生も2人いる。さらに、メーカーの工場海外進出とともに北米、中国、シンガポールなどにも支店を出してきた。



# 研究開発にもPM技法を

## 研究会第1回シンポジウム開催

「研究開発（R&D）」にもプロジェクトマネジメント（PM）の技法を適用して、生産性を飛躍的に向上させよう」  
 本学PM学科の久保裕史教授が中心となって活動している「ものづくりR&D PM研究会」とR&D PM研究会と日本生産管理学会関東支部共催の「ものづくりR&Dプロジェクトマネジメント」が2月14日、津田沼校舎で開催され、折からの大雪にもかかわらず、産業界や大学、官公庁などから約50人が参加した。写真。



この研究会は2012年6月に発足。R&DにPM技法を適用することで、革新的な製品やサービスが次々と産み出される仕組みや組織作りの知識体系を構築することを最終ゴールに活動してきた。

参加メンバーは、本学社会システム科学部の教員有志と、日立、東芝、パナソニック、ソニー、NEC、リコー、三菱化学、富士フイルムなどの大手企業や医療機器ベンチャー、理化学研究所や科学技術振興機構など公的機関の研究者や技術者、研究・経営管理者など22人。

今回のシンポジウムは「研究開発を成功させるプロジェクトマネジメント」というテーマで、研究会のこれまでの成果を報告し、今後の活動の方向性を参加者とともに議論することが目的。

「定義・ツールWG」（リーダー：清田守氏）からは、まず事業化プロジェクトとR&Dプロジェクトの特徴の違いが対比的に示された。さらにR&Dプロジェクトの規模と確度に応じた目標の決め方や、それに適合するPM技法開発の必要性が報告された。

「リーダーWG」（リーダー：金子浩明・グロビウス経営大学院教授）からは、SG導入に伴うわが国固有の問題点と業種別SG運用の必要性が指摘された。SGは使い方次第でR&Dの意思決定のスピードアップと、限られた経営資源の有効活用

の周知や啓発——を出展。卒業研究やゼミ研究の成果をまとめたもので、越山教授と研究室の森田舜君（3年）、中曾根慎君（2年）、岡本将由君（同）ら学生10人がボスターや製品サンプルなどで、訪れる市民に説明した。

同展は、身近な消費生活の問題について、地域の公共機関や消費者団体が市民に情報提供し啓発するため、習志野市と実行委員会が主催して毎年開催している。

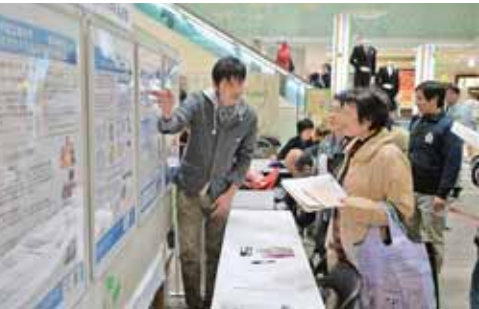
# 消費者生活の安全訴え

## 金融・越山研が展示

越山健彦教授（金融・経営リスク科学科）の研究室は、今年も「習志野市みんなの消費生活展」（2月15、16日の土・日曜日、モリシア津田沼1階センターコートと2階特設会場で開催）に参加した。

安全などの展示▽起震車による地震体験▽心肺蘇生法の講習——など各コーナーが盛大に展示され、来場者でにぎわった。

越山研究室は「消費生活の安全性」をテーマに、展示コーナーに▽子ども用品の安全▽欠陥住宅問題への対策▽新しくできた消費者教育推進法



来場者にポスターで説明



越山教授とゼミ生たち

活の問題について、地域の公共機関や消費者団体が市民に情報提供し啓発するため、習志野市と実行委員会が主催して毎年開催している。



**教師のための現代社会論**  
 編者：宮崎猛・創価大学教職大学院教授、古賀毅・千葉工業大学工学部教育センター准教授  
 出版：教育出版  
 価格：2310円（税込み）

# 現代を見る動体視力養つ



古賀准教授

解く、2：環境・生命問題と科学技術の時代を読み解く、3：グローバル化の時代を読み解く、4：情報化の時代を読み解く

古賀准教授は長年の高校社会科（公民教師）としての知見を生かしながら、第1章と第2章3の複数項目（グローバル化と消費生活/地域統合の進展）を執筆した。第1章では教師や大学生の「学び方」にも踏み込み、未来に対するアクティブな視座と思考を促している。

全体として、現代を見つめる「動体視力」のための視点を抽出することが中心となっており、一般社会人にとっても最適な現代社会論の入門書と言えそうだ。



「ニュートンの粘性法則、フーリエの法則、フィックの拡散法則……運動量・熱・物質の移動に

# 移動の本質しつかり学ぶ

## はじめて学ぶ移動現象論



佐野教授

本書は、著者が長い期間、大学、高専で教えた経験に基づき、学生が理解不足に陥りやすい点や誤解しやすい点を把握したうえで、移動現象を分かりやすく学習できるように、

生が理解不足に陥りやすい点や誤解しやすい点を把握したうえで、移動現象を分かりやすく学習できるように、

本概念▽運動量の移動▽乱流における運動量移動▽熱の移動▽定常熱伝導▽非定常熱伝導▽層流における熱伝導▽乱流における熱伝導▽相変化を伴

う熱伝導▽放射による熱移動▽物質の移動▽乱流における物質移動。流体力学と伝熱工学を別々に学んできた読者は、両者に共通するエッセンスを身につけることができるはずだ。



共著：佐野正利・千葉工業大学機械サイエンス学科教授、杉山均・宇都宮大学教授、永橋優純・高知高専教授、加藤直人・宇都宮大学助教  
 出版：森北出版  
 価格：3360円（税込み）

項目を精選し、教員が教えやすい教科書を目指した。多くの例題、演習問題で思考力を高め、理解を深めながら、自主学習も可能な構成。移動現象に広い知識が得られるように、図解と丁寧な数式展開を、日常的なトピックスで紹介。機械設計に大いに役立つ1冊に仕上がっている。



# 定年退職者

3月に定年を迎えられた教職員の皆様を紹介いたします。いろいろな思いや学生へのエールなど、温かい言葉を残して下さいました。  
(敬称略)

## 教員 (10人)



古市 徹雄 (建築都市環境学科・教授)

昨日研究室にいたかと思うと今日は海外。目まぐるしいスケジュールをこなすバイタリティーには驚かされる。千葉工大の「建築」に新しい光を呼び込んだ人物といえる。



高久 洋 (生命環境科学科・教授)

飽くなき探究心と研究への情熱は学生たちの憧れ。野球にも手を抜かない心技体パーフェクトのスーパーマン。千葉工大にバイオテクノロジーの新風を吹き込んでくれた。



船見 国男 (機械サイエンス学科・教授)

学生諸君！ 未来への目標を描き、その可能性に向けて今日できる事に全力でトライしてください

親分肌でおおらかな先生を誰もが頼りにしていた。担当科目の単位取得の難解さは学生泣かせと有名だったが、きめ細かい指導は、教員からも一目置かれている。



寺島 慶一 (機械サイエンス学科・教授)

卒業研究の指導の厳しさは一流。学生には無駄な努力や経験は一つもなく、将来何らかの形で役に立つと教える。解明が待たれる、たたら製鉄の歴史研究に取り組む。



富山 健 (未来ロボティクス学科・教授)

洋書に囲まれたオフィスでワインを飲みながら……紳士を絵にかいたようなDr. T。研究室はいつも学生でいっぱい。学生に限らず数学や英語を教わる教員も多かった。



渡邊 勉 (建築都市環境学科・教授)

優しく親しみやすい性格と、にじみ出るような笑顔の持ち主。学生にとっても「お父さん」的存在。研究指導には厳しく、公平な態度は、誰からも信頼されていた。



山本 恭永 (機械サイエンス学科・准教授)

唯一の趣味がオーディオ。音の柔らかい真空管アンプに目がなく、作製実績も多い。温和で真面目、シャイな可愛い一面も。マナーには人一倍厳しく学生指導をしていた。

## 18クラブを表彰 第34回祝勝・奨励会

表彰クラブは以下のとおり。平成26年2月4日(火)16時～ 於:新習志野校舎7号館芝園会館1階学生食堂

所属	クラブ名	部長	顧問	監督・コーチ	主将・部長等	部員数	祝勝奨励事由	日付
体	空手道部	相川 文弘	(名誉顧問) 本岡 誠一	(総監督) 山田 正明 (監督・師範) 根本 敬介	PM4 大澤 努	11名	千葉県空手道選手権大会 男子団体組手 優勝 4/21	6/23
							東都六工大空手道選手権大会 男子団体組手 優勝	6/30
							全日本学生空手道選手権大会 男子個人組手出場 (PM4 大澤 努)	11/24
							全日本理工科系大学空手道選手権大会 男子団体組手 優勝	
育	弓道部	小川 靖夫	堀内 俊幸 村上 吉信	玉城 清剛	電情2 岡本 祐人	39名	関東学生弓道選手権大会秋季リーグ戦中関東ブロック (女子) 3部優勝 2部昇格 10/27	11/3
							千葉県学生弓道選手権新人大会 男子団体 優勝	
							千葉県ダートトライアルフレッシュマンシリーズ第一戦 男子個人 (機サ3 加藤 強士) 優勝 4/7	5/4
会	自動車部	植草 昌彦	堀内 俊幸 村上 吉信	清田 義男 荒川 浩志	機サ3 藤枝 亘	29名	千葉県ダートトライアルフレッシュマンシリーズ第三戦 男子団体 優勝 5/4	8/4
							全日本学生ダートトライアル選手権大会 団体戦出場	
							東京都地区地区体道優勝大会 男子級位実戦競技 (電情3 佐々木 諒) 優勝 6/23	
							習志野四大学対抗卓球大会 男子団体戦 優勝 6/17	12/1
							キャンパスオフロードミーティングR-1 キャンパスBクラス (建都2 尾澤 佳樹) 優勝 4/14	5/26
							キャンパスオフロードミーティングR-2 キャンパスBクラス (建都2 尾澤 佳樹) 優勝	
							キャンパスオフロードミーティング全国大会 エンデューロフレッシュマン ED (機サ1 小川 巧資) 優勝 11/24	
							関東大学バドミントン秋季リーグ (女子) 6部優勝 9/28	
							千葉県学生バドミントン秋季リーグ戦 (女子) Cリーグ優勝 12/15	
							関東理工系大学バレーボール秋季リーグ (男子) 3部優勝 2部昇格 6/30	
文	よさこいソーラン風神部	笠嶋 義夫	三上 将史	NS2 高原 和之	95名	フクダ電子アリーナ公園広場で開催された「ひまわりフェスティバル2013」で大賞を受賞。 9/29		
							10月17~20日、大阪府能勢町国体記念スポーツセンターで開催された全日本女子学生ライフル射撃選手権大会に出場。	
化	射撃部 (奨励として)	近藤 誠 小出 範雄 磯海 善隆	岡本 良夫	生環3 吉岡 祥希	54名	全日本学生釣魚連盟関東支部ルアー・フライ大会 個人戦 (機サ1 大高 志樹) 優勝 8/20		
							ROBOT JAPAN 6th バンタム級 (ロボ2 鈴木 勝之) 優勝 7/21	
							津田沼祭や文化の祭典における写真展は毎年好評を博している。また、平成25年8月23~26日、千葉市文化センターで独自の写真展「ナツテン。」を開催したのをはじめ、学外の写真展にも積極的に出品するなど、文化会所属サークルの模範となっている。	
							入学式や学位記授与式等の学内行事における演奏はもちろんのこと、学外では定期演奏会をはじめ、各種団体からの要請を受け、地域の祭り等で積極的に演奏を行っていることから、大学や地域への貢献が高いと評価できる。	
							年間多数回行なっている大型鉄道模型による出張試乗会は、幼稚園に関連するイベントで非常に人気があり、地域との交流における一翼を担っていることから、文化会所属サークルの模範であると評価できる。	
会	鉄道倶楽部 (奨励として)	大川 茂樹 前田 修作	菊池 耕生	機サ3 知高 一樹	33名	第28回全国学生書き初め展覧会で優秀特選に入賞。		
							外部団体との対局を精力的に行うことにより、着実に実力をつけ、関東大学将棋連盟春季団体戦でC1リーグに昇格。	
							ロボ3 新村 悦康 13名	
会	将棋倶楽部 (奨励として)	室 英夫	電情2 山野辺 裕	20名				



定年退職者 (7面から続く)

職員 (9人)



武市 由光 (施設課・技術員)

優しく親しみやすい雰囲気そのままに、独特のゆったりした空気感... 施設管理に力を尽くした。



泉 末明 (総務課【芝園】・警備員)

朝一番に笑顔で「おはよう！」と。優しい声掛けが学生はもちろん、教職員にとっても一日の活力に。



岡本 能司 (総務課・警備員)

学生はもちろん、教職員らを常に優しい笑顔で見守り続けてくれた。大きな体でさり気ないあいさつが心地よく、来校者への気配りもピカイチ。



丸 一登 (法人事務局・事務職員)

無口で見るからに恐そうな面持ちも、ぶっきらぼうなしぐさも、言葉の端々から感じられる優しさで打ち消してしまふ。「食」に詳しく、いろいろな知識を披露してくれた。



野崎 善夫 (監査室・部長)

お酒の席が大好き。人と話すことは、もっと好き! ひとなつっこい笑顔で誘われると老若男女問わず「はい!」と即答。人を引き付ける不思議な魅力をもっていた。



仁井田和雄 (プロジェクトマネジメント学科・教授)

物静かで温厚、誰が見ても優しいオジサマ。笑顔がチャームポイントと学生たち。面白く分かりやすい授業をモットーに「手と足を一緒に使え」と、常に学生に伝えてきた。



作間 優一 (総務課【芝園】・警備主任)

気は優しく力持ち、作間さんは正義の味方だ。真っ直ぐで、常に正しく、全ての人から頼りにされていた。強面の裏に隠された笑顔に出会えると、誰もがうれしくなる。



鈴木 清太 (施設部・部次長)

穏やかで真面目、そして優しい。鈴木さんの周りにはいつも心地よい空気が流れている。施設畑一筋、本学の施設改革に尽力した。



服部 光郎 (プロジェクトマネジメント学科・教授)

物静かでスマート。先生のまわりはいつもほんわかしたムードに包まれている。学生には常に「責任感を!」と指導。厳しさの中に、学生への優しさが満ちあふれている。



大久保年朗 (施設課【芝園】・技術主任)

学内の施設のことなら、何でもお任せ。まさにプロフェッショナル! フットワークの良さと頭のキレで、どんな行事も成功に導いてくれた、縁の下の力持ち。



岡澤 文子 (総務部人事課・担当課長)

優しさで温かさ、大きな愛で周りのみんなを包んでくれる。若い女子職員にとっては、すてきなお母さん。ベテラン教員からも頼りになる存在と信頼されていた。



鶴沢 惇 (教育センター・教授)

先生の周りにはいつも人があふれている。照れ屋で憂められるとニコニコしながら怒る。厳しい姿勢で授業に臨みながら、学生から慕われ愛されている摩訶不思議な存在。

おわび 2月15日号2面 森田君が、連朝、学生懸賞論文最優秀賞の記事で「松・寛之君」とあるのは「松崎寛之君」の誤りでした。おわびして訂正します。

桜の開花予想は北上の兆しを見ているのだろうか? 3月だということにかく寒い。こんな寒い一年の締めくくりがあったらどうか?

編集だより



毎年、「学位記授与式」に取材担当として出席しているが、学生達が新しい世界へと旅立つ瞬間に立ち会えることを幸せに思う。オープンキャンパスや見学会等に積極的に参加してくれた学生や、取材対象として接した学生。広報スタッフとして協力してくれた学生等、大勢の卒業生の中から少しでも繋がりを持った学生を探し出すのは「宝箱」から思い出を拾い集める

ようでワクワクする。... 思い出は、ひとつの魔法! 以前、ある教授が下さった大好きな絵本に描かれていた言葉。学生達の誰もが大切にしまっている思い出がたくさんあると思う。思い出が詰まった「宝箱」をひっくり返した時、本学の4年間がひととき輝くものであって欲しい。 入試広報課 大橋 慶子

四季雑感



お茶を入れながら窓外の鉛色の空を眺めて「想定外」という言葉をこの3年の間に何度聞いたのだろうかと考えました。「失敗学」の畑村先生は、ものごとを考えるため制約条件設定が「想定」であるとしていま。先日の「想定外」の

大雪は一部地域を長期間孤立させましたが、雪国育ちの私は「予報で大雪と出ていたのに!」と疑問でした。それは市民の「想定」した制約(準備と対策コスト)を超えていたわけですね。「10年に一度」のためにスタッドレス等を準備するのは確かにムダです。しかし市民の「想定」を皆が共有して行動できていたのでしょうか。

経営情報科 秋葉 知昭 震災から3年。大地震も大津波も「想定外」で... 大雪は一部地域を長期間孤立させましたが、雪国育ちの私は「予報で大雪と出ていたのに!」と疑問でした。それは市民の「想定」した制約(準備と対策コスト)を超えていたわけですね。「10年に一度」のためにスタッドレス等を準備するのは確かにムダです。しかし市民の「想定」を皆が共有して行動できていたのでしょうか。

PPA



2月のはじめ、日本各地を大雪が襲ったことは記憶に新しいかと思えます。大学では、後期の授業も一区切りし、4年生が卒業にむけた審査会に臨むため、準備に勤しんでいる時期でした。研究室での作業の合間

キャンパスの目抜き通りも、学バスの乗車場も、なにもかもが白く塗りつぶされていきました。天候が落ち着くのを待ちました。結局、強い風と雪にあおられながら、その日は帰途につきました。翌々日には、審査会が行われたのですが、早朝の通学路は半ば凍りついた雪で覆われており、幾度となく足をとられながら大

あろう重く湿った雪はずでに掻かれており、普段と同じように歩くことができませんでした。職員の方や清掃の方の骨折りのお陰で、学内が安心して快適に保たれていることに改めて気づかされました。 目に留まりにくい形かもしれませんが、いつものように活動できる環境を整えることも「支え」の形の一つとして、とても大切なと感じました。 情報ネットワーク学科 山崎 治